



平成19年 2月 6日  
株式会社 中 電 工

## 新型モジュール太陽光発電設備の設置について

当社は平成17年度より新エネルギープロジェクトを立ち上げ、増加している新エネルギー関連の営業活動を積極的に展開しています。

このたび、当社は、広島市安佐南区の当社技術短期大学敷地内に、垂直設置両面受光太陽光発電設備を中国地方で初めて設置しました。

これは、新エネルギー関連に関わる新技術や新工法を習得し、お客様に様々なエネルギーのシステムをご提案するための一環として、昨年11月より設置工事を進めていたもので、今後は、データ収集（研究）を行っていきます。

本太陽光発電設備の特徴は、太陽光をより多く受光するため、水平地面に対し30度程度の角度で南向きに設置していた従来の片面受光太陽電池モジュールではなく、両面受光新型モジュールを使用していることです。新型モジュールは垂直に設置することで、太陽光を効率よく受光し発電できます。また、設置面積が小さくて済み、どのような設置方位でもほぼ一定の年間発電量となるため、設置場所に制約を受けにくいメリットがあります。

さらに、本太陽光発電設備では、当社看板としての役割を持たせました。これは、太陽光発電設備でも垂直型ならではの取り組みとなるもので、これは、今後、垂直型の新たな活用方法のひとつとなるものと考えています。

また、本太陽光発電設備は、現地当社施設エントランスに発電電力や発電量などがリアルタイムでわかるモニター（42インチ）を設置し、来所のお客様などに公開することとしています。

なお、本太陽光発電設備は、独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）の「平成18年度太陽光発電新技術等フィールドテスト事業」に事業提案・採択されたものです。

当社は、これにより、新エネルギーのシステム提案に新たなツールを加えることができるとともに、環境保全活動にも貢献できるものと考えています。

添付書類 設備概要・写真

以上

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社中電工 営業本部 第一営業部  
第一営業担当課長 真田 闊  
(新エネルギー・プロジェクト 統括)  
電話 (082) 291-7435

## 添付書類

### < 設備概要 >

設 備 : 垂直設置両面受光太陽光発電設備  
(全幅 31m 全高 5m)

発電容量 : 10.8 kW  
(日立製両面受光太陽電池モジュール 60枚使用)

予想発電量 : 12,231 kW / 年

予想 CO<sub>2</sub>削減量 : 6.7 t - CO<sub>2</sub> / 年

設置場所 : 広島市安佐南区伴東6丁目3番1号

備 考 : NEDO  
「平成18年度 太陽光発電新技術等フィールドテスト事業」

運用開始 : 平成19年 2月 7日

### < 写 真 >

